

ディープに歌舞伎入門⑪

～歌舞伎が描くファンタジー～

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する「木ノ下歌舞伎」の主宰者、木ノ下裕一による人気講座！

歌舞伎で描かれるのは人間だけではありません。狐や鳥などの動物、時には虫や流れ星も擬人化された姿で登場します。それら、人間以外の存在によって何を描こうとしたのか、その手法と意味を紐解いていきます。

令和6年12月21日(土)
13:30～16:00 (受付は13時より)

可児市文化創造センターala
映像シアター

チケット 全席指定1,000円

令和6年11月16日(土)9:00発売

※電話予約は翌17日(日)9:00～
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取り扱い

可児市文化創造センターala
インフォメーション

〒509-0203岐阜県可児市下恵土
3433-139(9時～19時/火曜定休)

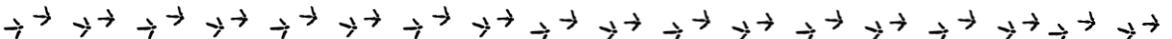
◆電話予約 0574-60-3050

◆インターネット予約
<https://www.kpac.or.jp/>



講師:木ノ下裕一

1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談一通し上演』『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』『糸井版 摂州合邦辻』など。2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』(2018)の補綴や神田伯山の講談の台本執筆を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。NHK ラジオ第2『おしゃべりな古典教室』にレギュラー出演中。まつもと市民芸術館芸術監督団団長。



主催・お問い合わせ (公財)可児市文化芸術振興財団

TEL 0574-60-3311(9:00～22:30)

火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み

協力 可児歌舞伎



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

